

新潟市食と花の交流センター平成 28 年度指定管理事業計画書
概要版

1. 基本方針

- ・新潟市が全国に誇る「食」と「花」の魅力を中心に各施設を活用した多種多様な企画事業を実施し、「ふるさと新潟」への市民意識の高揚を促し、地産地消を推進する。
- ・併せて新潟市産の「食」と「花」の「おいしさ」、「安全性」、「美しさ」などに多くの方がふれあい、体感できる機会を提供する。
- ・以上の取り組みにより新潟市産の「食」と「花」の販路の拡大及び農村と都市との交流を推進し、もって新潟市の農林水産業の振興及び新潟市民の豊かな生活の実現に寄与する。
- ・公の施設の管理者として、お客様への公平・平等なサービスを提供し、お客様が安心・安全に施設を利用できるよう利便性の向上、快適な空間の提供に取り組む。

2. 運営計画（自主事業含む）

- ・交流センターの各施設を市民へ更に周知し、さらなる利用者増を図るため下記のイベントや各種体験、その他事業を実施する。
- ・交流センターをはじめ、いくとぴあ食花各施設同士が連携した各種コラボイベントを企画し、いくとぴあ食花全体の賑わいを創出し利用者の拡大に努める。
- ・実施するイベントについては、企画広報推進本部会議、館長会議、出店者との定例会について効果的な広報を協議・実施する。
- ・実施するイベント、事業の予定については以下の通り。

1) いくとぴあ食花大規模イベント

- ・年 8 回、いくとぴあ食花施設全体で大々的に取り組むイベントを実施する。

2) 各種体験教室等

- ・食と花をテーマに、交流センター内各施設で連携してあたる独自企画の他、食育・花育センター、こども創造センター、動物ふれあいセンターとも連携した企画を検討・実施する。

3) 外部団体主催イベント及び外部団体との共催イベント、周辺施設との連携

- ・交流センター内を活用した外部団体の誘致を積極的に図り、各種市民団体や学生、その他団体活動の発表・交流を推進する。
- ・周辺施設においては周辺の集客施設と連携したイベント、誘客活動を推進する。

4) ガーデン及び展示館

- ・ガーデン及び展示館は多客時及び花の TOP シーズンを注力期間（ガーデン有料期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 5 月 8 日、平成 28 年 9 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）に設定する。注力期間中の周辺施設との連携、イベントを集中的に実施する。
- ・展示館内を展示館内設置のカフェを活用し、季節を楽しめる安らぎの空間を創出し、利用者にくつろぎと癒しを提供する。
- ・ガーデンチケットについてはプレミアムチケット（ドリンクと入園料、駐車場無料のセット券）を継続する。
- ・ガーデン入園口のマーケット側設置を継続する。
- ・サマーとウィンターの 2 期において、イルミネーションを実施する。

5) いくとぴあ倶楽部

- ・年会費を 3,000 円としたいくとぴあ倶楽部の周知拡大に努める。
特典については現在 4 点。

- ガーデン入園フリー（イルミネーション含む）
- 駐車料金終日無料
- ガーデン内カフェドリンク 100 円引き
- その他一部体験料の割引
- 検討中・・・アグリパークにおける体験料の割引、マーケットやレストランの割引など。

6) その他

- ・婚礼事業を推進する。
- ・ドッグラン事業を積極的に PR する。
- ・協賛金獲得営業（主にイルミネーション時）を推進する。

3. ガーデン展示運営管理

- ・新潟市の花と緑を中心に、病虫害の発生を未然に防止し、季節毎に美しく鑑賞できる計画の立案・実施する。
- ・本年度のテーマは鳥屋野潟に隣接していることを活用した「ラグーンガーデン」とし、特に注力期間中の満足度向上に努める。

4. 展示館展示運営管理

- ・カフェコーナーと融合させた季節感を楽しめる安らぎの空間を、四季を通じて創出、提供する。
- ・新潟市内の花生産者等と協力した新潟市の花を PR する企画展示及び体験教室、コンサートの実施する。

5. 管理計画

1) 予算管理

- ・各種法令並びに事務会計マニュアルの遵守及び、多重チェック体制による適切な会計処理を行う。
- ・相見積等による効率的な予算執行を行う。

2) 組織体制

- ・統括支配人以下、センター長のもと一元化した組織体制の構築、及び新潟市担当課及び関係各所、協力団体等と連携する体制を構築する。
- ・各セクションにて責任者、副責任者を配置し、事案について迅速かつ効果的・効率的に対応できる組織体制を構築する。
- ・利用者サービスの向上、施設の利便性向上を念頭においた適切な職員の配置を実施する。

3) お客様の声への対応

- ・「お客様の声」を収集すべく、HP での問合せ、聞き取り、イベント時、施設利用時でのアンケートを実施する。
- ・クレームを含め頂いた「声」を検証、速やかな回答及び改善策を検討・実施する。
- ・アンケートの集計結果を分析、検証し、施設管理、事業運営へ積極的に活用する。
- ・各種要望、集計データの他施設での情報共有及び積極的な活用を推進する。

4) 休館日

- ・利便性の向上及びサービスの向上を鑑み休館日を年間 24 日以内として設定。

5) 営業時間及び料金

- ・別紙「新潟市食と花の交流センター営業時間・休業日・料金一覧」参照

6. 施設維持管理（衛生管理含む）

1) 安全管理業務

- ・想定内外問わずリスクを十分に認識し、安全面における予防策及び発生時における対応策をマニュアル化、定期的な訓練を実施する。

2) 維持管理計画

- ・各構成団体が持つノウハウを最大限に発揮した、合理的・効率的な維持管理計画を作成し、実施する。
- ・法令及び仕様書を遵守した年間計画に沿った維持管理を実施しつつ、細やかな日常点検と軽微な修繕を行い施設の長寿化を推進する。
- ・利用者の導線や景観に考慮した、施設や植物の特性に応じた植栽の維持管理を実施する。

3) 衛生管理

- ・法令及び仕様書を遵守した清掃業務管理計画に基づき、さらに利用頻度を考慮した業務を実施する。
- ・環境に配慮した洗剤・床洗浄剤・ワックス等を使用する。

7. 環境への配慮

- ・新潟市の自然を後世に引き継ぐべく、全職員に対し無駄なエネルギー消費、廃棄物等の抑制など環境を考慮した行動の意識付けを推進する。
- ・環境保全活動を実施する団体等への協力を推進する。

8. 市内産業振興への配慮

- ・発注品及び発注先の業者選定の際は、「新潟市内」の業者を優先するよう努める。
- ・コスト削減に留意し、可能な限り市内産を使用するよう努める。
- ・レストラン及び直売所を通じた、新潟市産の安心・安全な農作物や加工品の積極的な PR による新潟市農産物等の消費拡大を推進する。
- ・上記に加え、アグリパークとも連携した新潟市産の農産物の PR、消費拡大に努める。

9. 地域連携

- ・各種事業・イベントの実施における新潟市住民や新潟市の各種団体・企業との積極的な連携・協力体制を構築する。
- ・上記団体等との安定的な連携協力事業の実施体制の確立に努める。

新潟市動物ふれあいセンター平成 28 年度指定管理事業計画書
概要版

1. 基本方針

- ・動物とのふれあいを通じて人と動物との関わりを学ぶ機会を提供することにより、動物愛護の精神を養い、これを普及させ、もって人と動物が共に暮らす心豊かな社会の実現に寄与する。
- ・効果的・効率的・誰でも楽しめる公平・平等な管理運営を実践して、新潟市行政施策の推進し最大限努める。

2. 飼育動物の適正飼育管理

- ・各動物が本来持っている種の特性、習性を十分理解した上で適切な飼養管理を実施し、来場者の満足度と動物福祉を両立させた管理、運営を行う。
- ・環境省発行の「展示動物の飼養及び保管に関する基準」及び「家庭動物等飼養保管技術マニュアル」に基づき、動物の福祉を重視し、健全かつ安全な飼育管理を行い、衛生管理に努める。
- ・管理動物

	動物種	頭数
家畜動物	アルパカ	4
	ヤギ	3
	羊	3
	カピバラ	2
愛玩動物	ウサギ	10
	モルモット	20
	ネコ	30
	犬	5

3. 市民サービスに係る事業の推進

1) 動物ふれあい事業

- ・動物のストレス及び利用者と動物双方の安心・安全に考慮しながら、動物について正しく学び、命の大切さ、やさしい心、思いやりの気持ちを育む動物ふれあい事業を展開する。
- ・動物を飼うことの難しさや飼うことの責任を学ぶ機会を提供する。

2) 動物展示事業

- ・来場者が動物に対する正しい知識を習得できるように動物の目的に応じた展示を行う。
- ・環境エンリッチメント（種特有の行動の発現を促して健康や繁殖といった生物機能を向上することで生活環境を改善させる試み）を取り入れた展示、一般来場者はもちろんのこと高齢者、障がい者、外国人来場者にも出来るだけ配慮した展示を行う。
- ・畜産動物については、その動物の生理、生態、習性、及び人の生活と家畜との関わりが学習できるように展示を行う。
- ・愛玩動物については「適正飼育」、「終生飼養」等の啓発普及が促進・推進される事をテーマとして展示を行う。

3) 学習支援、情報発信

- ・動物に関する興味や不安などその目的に応じた知識や情報が得られるよう、動物に関する相談の実施や、動物資料・動物情報の収集に努め、それらを利用者に提供及び情報として発信し、市民・来場者の学習意欲に応えるべく、人と動物に関する、最新で正しい知識の普及、啓発を促進する。
- ・教育機関からの特別メニューや見学・体験などの要望に際しては、その要望を精査し、可能な限り応えるよう対応する。

4) 譲渡会の協力

- ・新潟市動物愛護センターと協力し、犬と猫の譲渡を推進する。
- ・犬の譲渡会：動物愛護センターが行い、動物ふれあいセンターがサポートする。
- ・猫の譲渡会：動物ふれあいセンターが行う。

4. 管理計画

1) 管理の方向性

- ・公の施設の管理者として、市民のための施設であることを認識し、利用者が公平・平等、安心・安全に施設を利用できるよう関係法令を遵守した管理を行う。

2) 予算管理

- ・各種法令並びに事務会計マニュアルの遵守及び、多重チェック体制による適切な会計処理を行う。
- ・施設サービスの向上に努めつつ、経費の効率的・効果的な執行を行う。

3) 人員体制

- ・展示動物の適正な飼育、利用者サービス及び施設の利便性向上に向け、職員を適切に配置する。
- ・職員各個の資質向上に努める。

4) 利用者ニーズの把握

- ・利用者のニーズ・要望を反映すべく、利用者アンケートを実施するほか、利用者との日常会話から直接情報収集を行う。

5) 苦情・要望等への対応

- ・苦情処理基本対応フローに基づき、迅速かつ丁寧な対応を心掛け、公の施設管理者として真摯に受け止め、誠意を持った対応を行う。

6) 休館日

- ・原則第 2 及び第 4 火曜日と 12 月 31 日、1 月 1 日を休館日とするが、利用者サービスや展示動物の福祉を考慮しつつ、別紙の通り部分開館日を併用して開館日を設定する。
- ・年間休館日数は 21 日とする。

7) 開館時間

- ・施設の利便性向上の一環として夏休みやクリスマスイルミネーション実施時期において、展示動物の福祉を鑑みつつ新潟市と協議の上、開館時間の延長を検討する。

5. 維持管理の取り組み

1) 施設維持管理業務

- ・仕様書に定める点検基準及び各種関係法令を遵守し、安全かつ快適に利用できる最適な施設維持管理に努める。

2) 修繕業務

- ・当事業体の維持管理の専門企業が蓄積する豊富なノウハウを最大限に発揮し、日常的な点検管理と修繕業務を効果的に実施することで、施設のライフサイクルの延命化を図り、コスト削減に努める。
- ・大規模修繕については新潟市と連携、協議のうえ計画的に進める。

6. 誘客宣伝活動

1) 動物に関する情報提供

- ・利用者が動物に対する正しい知識を習得できるよう、動物資料、動物情報の収集に努め、それらを提供及び情報発信する。

2) イベント・広報展開

- ・利用者の動態、情報取得方法を常に分析・検討し、顧客ニーズを的確に把握することで、顧客ニーズにあった魅力的イベント展開、効果的で効率的な広報を実施する。
- ・いくとぴあ食花内の他の施設と情報を共有、いくとぴあ食花全体が一体となった広報を実施することで施設の利便性の向上、各施設の利用も促し、また、「おもてなしの心」を持った丁寧な接客を実施することでリピーター増を目指す。
- ・体験プログラムのさらなる充実を図り、潜在的な利用者への積極的なアピールを実施するとともに、さらなるファンの獲得に努める。

8. 個人情報保護・情報公開

- ・お預かりした個人情報は「新潟市個人情報保護条例」に基づき、収集の目的、その取扱いについて明確にし、適法且つ適切に管理する。
- ・情報公開については、「新潟市情報公開条例」に基づき新潟市と協議し、積極的に実施する。

9. その他の取り組み

- ・食と花の交流センターエリア内の多目的広場を活用し、ドッグラン事業など動物とふれあえる各種事業を展開することで、他施設との差別化を積極的にアピールし、動物ふれあいセンターのリピーターの確保、新規来場者の増加に努める。

新潟市こども創造センター平成 28 年度指定管理事業計画書
概要版

1. 基本方針

- ・子どもたちの明るい未来の実現のため、ひいては地域の発展、明るい未来の実現のため、子どもたちが「夢」を持ちそれを実現する「力」を育てて頂くべく、各種創作・体験活動プログラムを企画及び実施する。
- ・併せて、子どもたちの「自ら生きる力（自ら課題を持ち、考え、判断する能力）」を伸ばし「共に生きる力（感謝、思いやりの心）」を育むため、子どもたちが、当施設で多くの他の子どもたちや人々と良好な人間関係を築くことを運営の基本方針として活動する。
- ・公の施設の管理者として、お客様が公平・平等で安心・安全に施設を利用できるよう管理・運営を実践し、新潟市行政施策の推進に最大限努める。

2. 運営についての取り組み

1) 運営の方向性

- ・空間の創設、造形情報等の環境を整備し、子どもたち自らが様々な創作意欲を持てる魅力的な活動を提供する。
- ・人、物、自然や出来事との深いかかわりを大切に思える活動を提供する。
- ・家庭や校園での造形活動を通じた子育てや教育の支援センターとしての役割を果たす。
- ・個人、団体、ボランティアなどが子ども向け造形教育を実施する場と機会を提供する。
- ・センター事業の一環として、子ども関連施設等の情報発信を実施するとともに、いくとびあ食花全体としての利用拡大に努める。
- ・高品質のサービスを提供すべく、職員研修等により専門知識や子育てのノウハウの習得に努める。

2) 運営の具体的な取り組み

・「ものづくり部門」

造形活動を通して、創造することの喜びや楽しさを味わうとともに、自然や生きる上で大切な事柄に気づき考えられるように支援する。もの造りに留まることなく、「いくとびあ食花」の特性を生かした活動の中で感動的・印象的な出来事になるように工夫する。

- ・「あそびのひろば部門」
豊かな感性の発揮や創造的な遊び、施設環境を生かした人とのかかわり合いやゆずり合いの中で、大切なコミュニケーション力を高め身体能力や社会性などの力を自発的に育むことを支援する。また、保護者の子育て支援も行う。
- ・「鑑賞部門」
当施設で制作した来館者の作品、活動記録動画を展示・放映することで、活動の理解や意欲の醸成を図る。また、季節に応じ地域とも連携した多彩な事業を実施し、イベントに合わせた飾り付けを行い、視覚的にも楽しい施設づくりを行う。さらには、造形教育、子育てに関する作品・資料展示により造形、子育てへの理解を勧める。
- ・「研修支援部門」
支援者グループの定期的な活動を促し、造形・育児教育のベース基地化を進めるとともに、造形教育や育児支援に関する団体の研修の場と機会を提供する。
- ・「施設活用部門」
来館者が当施設の機能や魅力を最大限体験できるよう各設備を設置、運用する。
- ・「イベント部門」
創意工夫を凝らしたイベントを開催し、当施設及びいくとぴあ食花全体の魅力を発信、利用者満足度の向上を図る。
- ・「パブリシティ・申し込み・受付部門」
市報、いくとぴあ通信、イベントチラシ、HP等を活用し、当施設の周知や利用意欲の向上を図る。
- ・「スキルアップ研修部門」
当施設の存在価値を高めるべく、職員の造形教育、育児等に関する専門的な知識や能力の向上を図る。

3. 管理についての取り組み

1) 管理の方向性

- ・当施設が公共の施設であり、市民の施設であることを認識し、利用者が公平・平等で安心・安全に楽しめるよう関係法令を遵守した管理を行う。

2) 予算管理

- ・各種法令並びに事務会計マニュアルの遵守及び、多重チェック体制による適切な会計処理を行う。
- ・施設サービスの向上に努めつつ、経費の効率的・効果的な執行を行う。

3) 人員体制

- ・利用者サービス及び施設の利便性向上に向け、職員を適切に配置し、また、資質の向上に努める。

4) 利用者ニーズの把握

- ・利用者のニーズ・要望を反映すべく、利用者アンケートを実施するほか、利用者との日常会話から直接情報収集を行う。

5) 苦情・要望等への対応

- ・苦情処理基本対応フローに基づき、迅速かつ丁寧な対応を心掛け、公の施設管理者として真摯に受け止め、誠意を持った対応を行う。

6) 休館日

- ・原則第 2 及び第 4 火曜日と 12 月 31 日、1 月 1 日を休館日とするが、利用者サービスの観点から校園の夏期休業中は無休とし、また、別紙の通り部分開館日を併用して開館日を設定する。
- ・年間休館日数は 21 日とする。

4. 維持管理についての取り組み

1) 安全管理業務

- ・想定内外問わずリスクを十分に認識し、安全面における予防策及び発生時における対応策をマニュアル化、定期的な訓練を実施する。

2) 施設・設備の維持管理業務

- ・仕様書及び各種関係法令を遵守し、当事業体が持つノウハウを最大限発揮し、全ての利用者が楽しく、安全かつ快適に利用できる最適な施設維持管理に努める。

3) 修繕業務

- ・当事業体が蓄積する豊富なノウハウを最大限に発揮し、日常的な点検管理と修繕業務を効果的に実施することで、施設のライフサイクルの延命化を図り、コスト削減に努める。

4) 清掃業務

- ・清掃業務計画及び清掃マニュアルに基づき、使用頻度を考慮した清掃業務を提供する。
- ・子どもの身体や環境に配慮した洗剤・床洗浄剤・ワックス等の利用に心掛け、適切な管理を行う。

5) 植栽管理

- ・利用者の導線や景観を考慮し、施設や植物の特性に応じた維持管理を行い、快適で心地よい空間を創出できるよう努める。

5. 環境への配慮

- ・環境を考慮した行動の意識付けを行い、施設・設備の有効活用・再利用を推進し、無駄なエネルギー消費、廃棄等の発生抑制を徹底することで、環境負荷の軽減に努める。

6. 個人情報保護・情報公開

- ・お預かりした個人情報は「新潟市個人情報保護条例」に基づき、収集の目的、その取扱いについて明確にし、適法且つ適切に管理する。
- ・情報公開については、「新潟市情報公開条例」に基づき新潟市と協議し、積極的に実施する。

7. 市内産業振興に対する配慮

- ・発注品の選定にあたっては、市内の企業・団体・個人を最優先とする。
- ・コスト削減に留意し、可能な限り市内産を使用するよう努める。

新潟市アグリパーク平成 28 年度指定管理事業計画
概要版

1. 基本方針

- ・日本発の「教育ファーム」として、学習指導要領に基づいた学校のカリキュラムと連動した農業体験学習を提供し、子どもたちが体験を通じて学ぶことで、ふるさとへの愛情や誇り、生きる力を培う。
- ・新潟市が誇る農業と食を通じて農村と都市との交流を活発にするとともに、地域農業の活性化を推進する。
- ・宿泊施設を活かしながら就農支援プログラムや食品加工技術、パッケージ、デザイン、などを一体的に学べるプログラムを提供する。
- ・公平・平等で安心・安全に利用できる管理運営を実践し、新潟市行政施策の推進に最大限努力する。

2. 管理運営計画

1) 教育ファーム事業

- ・「新潟市アグリパーク七つのコンセプト」（新潟市策定）に基づいた施設運営に努める。

- 1 子どもたちが本格的な農業体験をすることができます。
- 2 子どもたちが持続可能な循環型の農業を学ぶことができます。
- 3 子どもたちが生きる力を培うため、体験と知識を結び付けた学習をすることができます。
- 4 子どもたちが農業体験、加工体験、食体験を関連付けた学習をすることができます。
- 5 子どもたちが郷土への誇りと愛情、命の大切さを学ぶことができます。
- 6 子どもたちが農業体験をとおしてキャリア意識を高めることができます。
- 7 子どもたちが農家のサポートを受けながら仲間と協力して絆を深めることができます。

【アグリ・スタディ・プログラム（学校用）】

- 幼稚園篇 …… 3プログラム
- 小学校篇 …… 26プログラム
- 中学校篇 …… 10プログラム
- 特別支援学校篇 …… 4プログラム
- 適応指導教室辺 …… 1プログラム

【わくわく体験プログラム（幼児・一般用）】

- 幼児対象 ・・・アグリ・スタディ・プログラムに準ずる
- 一般市民対象 ・・・(個人用) 10 プログラム (団体用) 13 プログラム

2) 就農支援事業

- ・「農業」という「仕事」の意義を伝え、農業への興味の喚起から就農に繋げるため、農業の基礎的から中級的な知識、技術を享受する各種プログラムを提供する。
- ・就農に関する各種相談やフォローアップ、地域農家との交流会など就農地域への定着支援を実施する。

3) 食品加工支援事業

- ・農家の所得向上に資するため、地元農家、農業団体等の 6 次産業化を支援するため、食品加工における知識及び技術の取得のための講座を実施する。
- ・商品化のための加工食品表示やパッケージデザイン、食品衛生に関する各種講座を実施する。
- ・マーケティング、加工設備等の補助金申請などを農業活性化研究センター、IPC 財団、各行政担当課と連携し、6 次産業化におけるトータル的な支援に努める。
- ・農家、農業法人、食品関係企業、学生などと連携し、地元農産物を活かした新たな商品開発にも努める。

4) イベント

- ・施設の周知と誘客を図るべく、施設の特徴を生かしたイベントを開催する。
- ・季節行事や地域行事との連携、新潟市を代表する農作物の収穫や食の体験を取り入れるなど、新潟市の農業と食を全国に発信できるイベントを開催する。

5) 誘客・広報

- ・当施設の特徴や魅力、上記イベントの告知等を通じてアグリパークの魅力をより多くの市民に周知する。
- ・過去の利用者の声やアンケートの集計結果を考慮し、お客様ニーズに合致した特色あるイベントを包括的・一体的に企画、実施することでスケールメリットを生かした効果的・効率的な宣伝広報活動を実施する。

6) 管理計画（予算、利用者アンケート、組織図、業務分掌含む）

① 予算管理

- ・各種法令並びに事務会計マニュアルの遵守及び、多重チェック体制による適切な会計処理を実施する。
- ・相見積等による効率的な予算執行を行う。

② 組織体制

- ・統括館長のもと一元化した組織体制とし、新潟市担当課及び関係各所と連携する。

- ・各セクションにおける責任者、副責任者を配置し、事案について迅速かつ効果的・効率的に対応できる組織体制を構築する。
- ・利用者サービスの向上、施設の利便性向上を念頭においた適切な職員の配置を実施する。

③お客様の声への対応

- ・「お客様の声」を収集すべく、HP での問合せ、聞き取り、イベント時、施設利用時でのアンケートを実施する。
- ・クレームを含め頂いた「声」を検証、速やかな回答及び改善策を検討・実施する。
- ・アンケートの集計結果を分析、検証し、施設管理、事業運営へ積極的に活用する。
- ・各種要望、集計データの他施設での情報共有及び積極的な活用を推進する。

④休館日

- ・利便性の向上及びサービスの向上を鑑み原則年中無休として設定する。
- * 冬期期間の営業に関しては、安全面を考慮し気象状況に応じ臨機応変に対応する。
- * 加工支援機器は衛生面を考慮し週 1 回の大規模洗浄有。
- * 各館内の大規模清掃、大規模点検等は別途休館日を設ける場合有。
- * レストランは不定休。(季節により変動)
- * 直売所は不定休。(週 1 日程度)

⑤営業時間及び料金

- ・別紙「新潟市アグリパーク営業時間・休業日・料金一覧表」参照

7) 受付・案内

- ・各種事業、各セクションとの連絡を密にし、施設利用の重複を防ぐ。
- ・利用者アンケートを実施し、評価・改善に努める。

8) 宿泊業務

- ・学校及び一般の方に広く利用して頂き、直売所・体験を併せて利用して頂けることをアピールする。
- ・予約受付から当日の利用まで、宿泊約款に基づいた適切な運営を行う。

9) 家畜管理

- ・お客様の満足と動物福祉を両立させ、動物の特性等を鑑みた適切な飼養管理を実施する。
- ・飼育に係る法令を遵守し獣医師の指導を受けつつ、健全かつ安全な飼育管理、衛生管理に努める。
- ・各種イベント時は、お客様の安全に十二分に配慮した運営を実施する。

【飼育動物】

- ・牛 2 頭 ・ヤギ 2 頭 ・ヒツジ 2 頭

10) 圃場

- ・年間を通し新潟市を代表する農産物の植付・管理・収穫体験が行える計画を立案する。
- ・適期適作を基本に適切な管理を行い、食味の良い収穫物の育成に努める。
- ・自然農法等の活用、農薬使用量減による安全・安心な作物づくりに努める。

11) 駐車場・交通誘導計画

- ・安全に関する綿密な事前検討と適正な警備計画により円滑な入退場と雑踏事故の防止に努める。
- ・イベント開催時は交通誘導の技術を持った誘導員を適切に配置し、防犯と駐車場利用者の安全確保を図る。

12) 施設維持管理（衛生管理含む）

①維持管理計画

- ・各構成団体が持つノウハウを最大限に発揮した、合理的・効率的な維持管理計画を作成し実施する。
- ・法令及び仕様書を遵守しつつ、日常点検と修繕を行い、施設の長寿化を推進する。
- ・利用者の導線や景観を考慮し、施設や植物の特性に応じた植栽管理を実施する。

②衛生管理

- ・清掃業務管理計画に基づき、さらに利用頻度を考慮した業務を実施する。
- ・人に、動物に環境にやさしい洗剤・床洗浄剤・ワックス等を使用する。
- ・宿泊施設においては、特に衛生管理面に重点をおき宿泊室内、水回りは適切な管理を実施する。
- ・日常の家畜の糞尿はもみがら等にて畜舎床管理を徹底する。
- ・体験時の畜舎内出入りでは伝染病対策の原則に則り、常時配慮できる体制を整備する。

13) 危機管理防災計画

- ・事業総支配人を危機管理責任者として一元化した組織体制を構築し、職員には定期的な訓練、教育を実施する。
- ・自衛消防隊組織の編成及び緊急時における各種役割を設定のうえ、避難誘導、初期消火、館内放送訓練等を定期的に実施する。
- ・重大な事件や事故の前兆をいち早く察知、未然防止策を実施する。
- ・発生事象の原因究明、予防策の検討、各マニュアルの見直しによる二次災害・再発の防止に努める。

14) 財務・会計処理

- ・関係法令の遵守、施設の実情に合致した事務会計マニュアルを整備し、適切な事務処理、会計処理を実施する。
- ・現金、預金の取り扱いについては、多重にチェック体制とし、不正経理を防止する。
- ・物品等の購入、予算執行に当たっては責任者等への事前伺いを原則とし、必要に応じて、新潟市、各構成団体の事業担当者と協議し、透明性ある執行を実施する。

- ・相見積等による効率的な予算執行を行う。

15) 直売所・レストラン

①直売所（出店者：㈱にいがた村）

- ・地元新潟市産の農産物の試食販売、季節により旬の食材を活用したイベント PR 販売等、特に南区周辺に特化した農産物の販売に注力する。

②レストラン（出店者：㈱オーシャンシステム）

- ・地元新潟市産の旬な食材を中心にしたメニューを展開する。

16) ボランティア

- ・市民との協働による施設運営を図るため、ボランティアの募集・育成に努める。
- ・ボランティア活動を通じて地域の活性化、発展を促すべく、ボランティア同士の交流、情報交換、他のボランティア団体との協力・連携にも努める。

17) 環境への配慮

- ・新潟市の自然を後世に引き継ぐべく、全職員に対し無駄なエネルギー消費、廃棄物等の抑制など環境を考慮した行動の意識付けを推進する。
- ・アグリパークで発生する樹木剪定枝や食品残渣、家畜の糞尿など可能な限り堆肥化に努め、また、もみがら堆肥を積極的に活用することで廃棄物の削減、資源の循環利用に努める。
- ・各種環境保全に関する体験活動を実施する。

18) 市内産業振興への配慮

- ・発注品及び発注先の業者選定の際は「新潟市内」業者等を優先する。
- ・コスト削減に留意し、可能な限り市内産を使用するよう努める。
- ・食品加工支援センター及びレストラン並びに直売所を通じた、新潟市産の安心・安全な農作物や加工品の積極的な PR による新潟市農産物等の消費拡大を推進する。

19) 地域連携

- ・各種事業の実施において、周辺住民及び農家・農園、他農業関連団体、商工会、観光施設等と積極的に連携し、アグリパーク事業を成功させ、もって南区の交流人口の増加、産業の振興につとめる。

平成 28 年度新潟市食と花の交流センター営業時間・休業日・料金一覧

施設	営業時間						休館	料金 (税込金額)						備考						
	4/1～5/8	5/9～6/17	6/18～9/25 (休予定) ※6/18～7/15 及び 9/1～9/25 は土日祝日の対応	9/26～11/2	11/3～2/15 (休予定)	2/16～3/31		12/13.31、1/1.24、2/28	4/1～5/8	5/9～6/17	6/18～9/25	9/26～11/2	11/3～2/15		2/16～3/31					
情報館	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～21:00	9:00～17:00	9:00～20:00	9:00～17:00	マーケットは上記に加え、1/2.3	無料												
キラカガーデン (展示館含む)	9:00～17:00 (ガーデン最終入場 16:30)	9:00～17:00 (ガーデン最終入場 16:30)	9:00～21:00 (ガーデン最終入場 20:30) ※昼の部 9:00～17:00 (ガーデン最終入場 16:30) ※一時閉鎖 17:00～18:00 ※夜の部 18:00～21:00 (ガーデン最終入場 20:30) ※8/13～16 は 22:00 まで	9:00～17:00 (ガーデン最終入場 16:30)	9:00～20:00 (ガーデン最終入場 19:30) ※昼の部 9:00～15:30 (ガーデン最終入場 15:00) ※一時閉鎖 15:30～16:00 ※夜の部 16:00～20:00 (ガーデン最終入場 19:30)	9:00～17:00 (ガーデン最終入場 16:30)	【昼】 大人 N300 円 小人 M200 円 大人 P500 円 小人 P350 円 *N はノーマル *P はプレミアム 【休】 実施なし	無料	【昼】 8/31 まで無料 9/1 から有料、金額は左記に準ずる 【休】 6/18 から 9/25 まで 大人 500 円 小人 300 円	【昼】 10/31 まで有料、金額は左記に準ずる 11/1 から無料 【休】 実施なし	【昼】 無料 【休】 11/3 から 2/15 まで 大人 500 円 小人 300 円	【昼】 無料 【休】 実施なし	●障がい者手帳、療育手帳提示で 100 円引き ●障がい者手帳 1 級・1 種、療育手帳 A の方の介助者 1 名 100 円引き ●小人＝小・中学生 ●未就学児は無料 ●いくとぴあ倶楽部会員は無料 ●20 名以上の団体 50 円割引 ●ニイガタ検定合格者 [1 級合格証提示] 本人：無料、同伴者：団体割引と同額 [2 級合格証提示] 本人：団体割引と同額、同伴者：団体割引と同額							
カフェ	12:00～17:00	12:00～17:00	※昼の部 12:00～17:00 ※一時閉鎖 17:00～18:00 ※夜の部 18:00～ラストオーダー20:00	12:00～17:00	※昼の部 9:00～15:30 ※一時閉鎖 15:30～16:00 ※夜の部 16:00～ラストオーダー20:00	12:00～17:00								メニューにより異なる						
レストラン	11:00～21:00 (最終入場 19:30) ※イベント、季節により延長の可能性有														シルバー (65 歳以上) 1,728 円 大人 (中学生以上) 2,160 円 中人 (8～12 歳) 1,296 円 小人 (4～7 歳) 864 円 3 歳以下無料					
マーケット	10:00～18:00							商品により異なる												
駐車場	24 時間						無休	【通常】 入場から 90 分まで無料、90 分以降 6 時間まで 30 分につき 100 円ずつ追加 6 時間以降 24 時間まで 1,000 円 【無料サービス】 いくとぴあ食花内のセンター主催及び共催有料体験の受講者、ガーデン入場者、情報館グッズ購入者、レストラン利用者は 90 分無料を加算、但し複数施設を利用した場合でも割引時間の加算はなし。(通常無料時間とあわせて最大 180 分の無料) 「ガーデン無料開放時は除く」を追加						【その他の割引】 障がい者手帳、療育手帳、思いやり駐車場利用証をお持ちの方、いくとぴあ倶楽部会員、プレミアムチケット購入者は終日無料						

平成28年度動物ふれあいセンター営業日程

月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	休館数		
4月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				2
5月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			2
6月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			2
7月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			1
8月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			0
9月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				1
10月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			2
11月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				2
12月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			2
1月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			3
2月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			2
3月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金			2

年間休館

休館日
 部分開館日

平成28年度子ども創造センター営業日程

月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	休館数	
4月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			2
5月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		2
6月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		2	
7月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		1
8月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		0
9月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		1	
10月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		2
11月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		2	
12月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		2
1月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		3
2月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火					2
3月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		2

年間休館

休館日
 変則開館日

平成28年度食と花の交流センター営業日程

月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	休館数
4月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		0
5月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	0
6月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		0
7月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	0
8月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	0
9月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		0
10月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	0
11月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		0
12月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	2
1月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	2
2月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		1
3月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	0

年間休館



休館日



変則開館日 * マーケットのみ休み

平成28年度アグリパーク営業日程

月	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	休館数
4月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		0
5月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	0
6月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		0
7月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	0
8月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	0
9月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		0
10月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	0
11月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		0
12月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	0
1月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	0
2月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火				0
3月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	0

年間休館
0

- 休館日
 変則開館日
- ※ 指定管理者管理物件は原則年中無休
 - ※ 食品加工支援センターは年中無休であるが、週1回加工機器の洗浄有
 - ※ レストランは不定休(季節により変動)
 - ※ 直売所は週1回水曜日が休業日となるが、繁忙期には臨時営業有

平成 28 年度新潟市アグリパーク 営業時間・休業日・料金一覧

施設	営業時間		休業日		料金（税込金額）	
	通常	備考	通常	備考	通常	備考
クラブハウス	9：00～17：00	宿泊・体験等ある場合は延長有	無休		無料	有料体験有
食品加工支援センター	9：00～17：00	プログラム等ある場合は延長有		週 1 回程度加工機器の大規模洗浄により使用不可の場合有		
農業体験ハウス	平日：9：00～17：00 土日祝：10：00～17：00	平日は団体のみ				
体験畜舎	平日：9：00～17：00 土日祝：10：00～16：00					
宿泊棟	IN：15：00～ OUT：～10：00				<p>【1名利用素泊まり】 一般 5,000 円/1 名 小・中学生 3,000 円/1 名</p> <p>【2名利用素泊まり】 一般 4,000 円/1 名 小・中学生 3,000 円/1 名</p> <p>【15名以上】 団体料金として 2 名利用の宿泊料金より 500 円引き</p> <p>【連泊】 連泊料金として 3 泊以上の場合 3 泊目以降一律 500 円引き *他朝食夕食付プラン有</p>	
宿泊コテージ				<p>【2名利用素泊まり】 一般 5,000 円/1 名 小・中学生 3,000 円/1 名</p> <p>【3名以上利用素泊まり】 一般 4,000 円/1 名 小・中学生 3,000 円/1 名 *15 名以上、連泊は宿泊棟に準じる。 *他朝食夕食付プラン有</p>		
米どころん	10：30～15：00	季節・行事・宿泊により変動有	不定休	季節・行事・宿泊により変動有	メニューにより異なる	
にいがた村	9：00～18：00	季節・行事により変動有	不定休	季節・行事により変動有	商品により異なる	